

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2023年2月分)

2023年3月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[BH上院の発足\(16日\)](#)

●[RS資産登記関連法の一部差し止めに係るボン・パワー行使\(27日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[BH連邦大統領・副大統領の選出\(16日～28日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[大統領評議会3メンバーのブリュッセル訪問\(15日\)](#)

●[クリシュト閣僚評議会議長及びコナコビッチ外相のミュンヘン安全保障会議出席\(17日～19日\)](#)

(2) 二国間関係

●[大統領評議会3メンバーの訪米\(1日\)](#)

●[コナコビッチ外相の近隣諸国訪問\(21日～24日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[ベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバー表敬\(9日\)](#)

●[天皇誕生日レセプションの開催\(21日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●BH上院の発足(16日)

16日、BH上院の初回会合が実施され、正式にBH上院が発足し、BH上院議長団(各主要民族選出の3名による8ヶ月ごとの輪番制)の選出が実施。シュピリッチ議長(留任、セルビア系。SNSD)、アデモビッチ第1副議長(新任、ボシュニャク系。NiP)、チョービッチ第2副議長(留任、クロアチア系。HDZ党首)が就任。

●スレブレニツァ追悼センターの資金運用に係るボン・パワー行使(21日)

21日、シュミット上級代表はボン・パワーを行使し、スレブレニツァの虐殺追悼センター関連法を改正。2007年、シュバルツ＝シリング上級代表(当時)の決定で同センターへの寄付金の使途が犠牲者の埋葬及び墓碑建立に限定されていたところ、寄付者の同意を得た上で広報及び他センターとの協力事業等の別用途に拠出できることとなった。

本改正はスレブレニツァ追悼センター側の要望により実施されたものである。

●RS資産登記関連法の一時的差し止めに係るボン・パワー行使(27日)

27日、シュミット上級代表はボン・パワーを行使し、RS資産登記関連法(客年12月28日にRS国民議会が採択し、本年2月28日に発効予定となっていたもの)の一時的な差し止めを命じた。今般の差し止め決定は、2022年4月に実施したボン・パワー行使(同年2月に採択されたRS資産登記関連法の効力を、BH憲法裁判所による判断まで一時的に差し止めたもの)を本年発効の法律にも適用する形で行われた。本法律については、ベチロビッチBH大統領評議会ボシュニャク系メンバー等がBH憲法裁判所に違憲性判断を要請しており、

今般の差し止め措置は右を受けたBH憲法裁判所の対応が実施されるまでの一時的なもの。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH連邦大統領・副大統領の選出(16日～28日)

16日、BH連邦議会両院において、BH連邦の大統領・副大統領候補の選出が実施され、リディヤ・ブラダラ(クロアチア系、HDZ)、イゴル・ストヤノビッチ(セルビア系、SDP)、レフィク・レンド(ボシュニャク系、SDA)の3名が選出された。以後は上記3名間の協議によって大統領(1名)と副大統領(2名)が決定する規定のところ、レンド候補の協議不参加が続いたことで選出プロセスが停滞。24日に初めて3者会合が実施されるも結論が出ず、BH選挙法の規定に従ってBH連邦下院で審議が実施された。

28日、連邦下院の審議の結果、ブラダラ氏が新連邦大統領に決定し、残る2名が連邦副大統領となった。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●大統領評議会3メンバーのブリュッセル訪問(15日)

大統領評議会3メンバーはブリュッセルを訪問し、ミシェル欧州理事会議長及びボレルEU上級代表(外交・安全保障政策担当)と会談した。両会談ではBHのEU加盟プロセスについての意見が交わされ、BH側はEU加盟を目指した改革の履行を引き続き進める姿勢を示し、EUもBHの改革を支持する姿勢を強調した。

他方、ボレル上級代表は対ロシア制裁への

参加を念頭に、BHがロシアに対するEUの姿勢に同調していることを歓迎する旨発言。対し、ツビヤノビッチBH大統領評議会議長（セルビア系）は、BHは対ロシア制裁に加わっていないとの姿勢を改めて強調した。

●クリシュト閣僚評議会議長及びコナコビッチ外相のミュンヘン安全保障会議出席（17日～19日）

クリシュト閣僚評議会議長及びコナコビッチ外相はミュンヘン安全保障会議出席のためドイツを訪問した。

クリシュト閣僚評議会議長は、ゼレンスキー・ウクライナ大統領、ショルツ独首相、マクロン仏大統領による講演にそれぞれ出席したほか、コヴァチェフスキ・北マケドニア首相と会談した。

コナコビッチ外相は西バルカンのEU加盟に関するパネルに参加し、EU加盟プロセス開始のための14の優先事項の履行、及びベルリン・プロセスに沿った移動の自由の促進、とりわけ学術分野での機動性向上に取り組んでいくとの姿勢を示した。その他、ベアボック独外相と会談したほか、仏、オーストリア、スペイン、スウェーデン各国外相と会談を実施した。

（2）二国間関係

●大統領評議会3メンバーの訪米（1日～3日）

BH大統領評議会3メンバーはバイデン米大統領の招きに応じ、毎年2月の第1木曜日に開催される祈祷朝食会出席のため訪米した。大統領評議会3メンバーが共同で訪米するのは2005年以来18年ぶり。

滞在中、3メンバーはともにファイナー米国家安全保障担当大統領次席補佐官及びスロート米国家安全保障評議会欧州局長、ショレ米務省顧問、カーリン米国防総省国防担当顧問等と会談、安全保障を中心とした米・BH

関係の強化等につき意見を交わした。

●トルコ・シリアの地震災害に対するBHの支援（7日～）

2月6日にトルコ南東部及びシリアで発生した地震に関して、BHは国、エンティティ、自治体各レベルで活発に支援を実施。RS・BH連邦から各エンティティレベルの救助部隊が派遣された他、9日には大統領評議会がBH軍医療チームの派遣を決定した。

●コナコビッチ外相とブリンケン米務長官の電話会談（13日）

13日、コナコビッチ外相はブリンケン米務長官と電話会談し、BH・米関係及び、ロシアによるウクライナ侵攻等について意見を交わした。両者は、BHの欧州・大西洋統合が西バルカン地域の安定に大きく資するとの議論を行ったほか、今後の二国間協力の強化につき協議した。

●ドカーティ英国政務次官のBH訪問（13日～14日）

13日から14日、ドカーティ英国政務次官（欧州担当）がBHを訪問し、コナコビッチ外相、フォルト通信・運輸相、シュミット上級代表と会談した他、BH国防省を訪問した。ドカーティ次官は、英国によるBHのEU及びNATO加盟への支持を改めて表明した。

今般の訪問に対し、ドディックRS大統領（英国の制裁対象）は、英国は帝国主義的政策をもってBHを不安定化し、地域に対する自らの影響力を行使しようとしているとして非難した。

●クリシュト閣僚評議会議長のクロアチア訪問（16日）

16日、クリシュト閣僚評議会議長はクロアチアを訪問し、ミラノビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びヤンドロコビッチ議長等とそれぞれ会談した。クロアチア側要人からは、BHに

おけるクロアチア系の権利保障のため、クロアチア系が求めるBH選挙法の改正への支持が表明されたほか、両国関係の強化及びBHのEU加盟プロセスへの支持等が表明された。

●コムシッチ大統領評議会クロアチア系メンバーのトルコ訪問(17日)

17日、コムシッチBH大統領評議会クロアチア系メンバーはトルコを訪問し、イスタンブールにおいてエルドアン大統領と会談した。

会談では、トルコの地震による被害及び犠牲者へのBHの強い連帯が表明されたほか、BHの政治情勢、両国間協力の強化等について意見が交わされた。

●コナコビッチ外相の近隣諸国訪問(21日～24日)

21日以降、コナコビッチ外相はクロアチア、モンテネグロ、セルビアを歴訪し、ミラノビッチ・クロアチア大統領及びプレコビッチ・同首相、ジュカノビッチ・モンテネグロ大統領及びアバゾビッチ同首相、プチッチ・セルビア大統領、ブルナビッチ同首相及びダチッチ同外相とそれぞれ会談を実施した。

コナコビッチ外相は各国首脳等と二国間関係の強化につき意見を交わしたほか、バルカン地域の安定の重要性を強調した。

●大統領評議会3メンバーのトルコ訪問(24日)

24日、大統領評議会3メンバーはトルコを訪問し、エルドアン大統領と会談を実施した。3メンバーは2月6日の地震被害に対する哀悼の意を表したほか、BH内政及びBH・トルコの経済関係等につきエルドアン大統領と意見を交わした。会談では、BHにとってトルコは締結・採択済みの両国間合意が最多であり、両国関係強化が進んでいる点について歓迎の意が表明された。

(3) 日・BH関係

●ベチロビッチBH大統領評議会メンバー 表敬(9日)

杵渚駐BH日本大使は、ベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバーを着任表敬し、同メンバーの就任に祝意を表するとともに、日・BH関係の発展に尽力していきたい旨述べた。両者は、特に経済・文化・スポーツ等の分野における協力につき意見交換を行った。

ベチロビッチ・メンバーは、日本からBHに対するこれまでの支援への謝意及び今後の協力強化に対する強い姿勢が示された。



(写真: 杵渚大使とベチロビッチ・メンバー)

●天皇誕生日レセプションの実施(21日)

21日、天皇誕生日レセプションがサラエボ市内の「ホテル・ヨーロッパ」で開催された。BHからはチャバラ下院第一副議長、ブノザ司法大臣、フォルト通信・運輸大臣、ボシュニャク民生大臣、ネシッチ治安大臣、フルティッチ人権難民大臣をはじめとした政府関係者のほか、当地各国大使、文化関係者、学術関係者等、計約320名が出席した。



3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

●雇用／失業率

2022年12月の失業者登録数は35万4,323人(うち女性20万5,870人)で、前月比0.1%マイナス。前年同月比で5.7%マイナス。

●平均給与

2022年12月の平均給与(手取り)は1,190KMで、前年同月比で14.2%のプラス。

(2) 経済政策・公共事業

●ガス関連法に関する審議(22日)

ベチロビッチBH大統領評議会ボシュニャク系メンバーは、大統領評議会に対して国レベルのガス関連法案を提出した。同案は、現在、BH国内全体を管轄するガス供給は行われておらず、各エンティティレベルでの公共企業が別々に供給しているところ、エンティティレベルの調整機関を廃止し、国レベルの機関を立ち上げるというもの。同メンバーは、全国的なガス供給の安定や各プロジェクトの実施の円滑化を目的として挙げている。

他方、RS側は同案に強く反発しており、大統領評議会の審議ではツビヤノビッチ議長が反対票を投じた。

(3) 経済協力

●トレビニェ太陽光発電所の建設(24日)

24日、ハンガリー訪問中のツビヤノビッチ大統領評議会議長はオルバーン首相との会談後、トレビニェ(RS、クロアチア及びモンテネグロとの国境付近)太陽光発電所の建設は本年中に開始すると述べた。トレビニェ太陽光発電所はハンガリーの投資による西バルカン最大の太陽光発電プロジェクト(1.34億KM規模)であり、平均発電量は147.7GW/hとなる計画。

(4) 民間セクター

●BHへの外国からの投資額の減少(27日)

2022年のBHに対する外国からの投資額は約8.4億KMであり、前年比で26%のマイナスとなった。BH対外投資促進庁によれば、新型コロナウイルスの感染拡大及びウクライナ情勢の他、BH国内の不安定な政治情勢及び投資に関する法制度及び手続きの煩雑さが企業にとって大きなマイナスとなっている。さらに、BHからの人口流出による労働力不足も大きな問題として指摘されている。

なお、2022年第3四半期までの対BH投資額上位3か国はオーストリア(1.65億KM)、英国(1.44億KM)、スイス(1.34億KM)。

●物価の高騰に伴う消費者行動の変化(27日)

世界的な物価の高騰に伴い、BHでも消費者の行動に変化がみられ、食料品を小売店でなく安く買える市場で求める傾向が強まっている。BH連邦の統計によれば、本年1月の野菜・果物類の市場における売り上げは計131.8万KMであり、前年同月比37.1%の増加。最も多く購入されたのはじゃがいも(73,420キロ。12.1万KM)である。